

### 「親子で学ぶ論語教室」の意義と効果は

緑風会 木下健二



**質問**↓平成23年から津山市内各所で「親子で学ぶ論語教室」が開催されているが、その意義と効果について説明をいただきたい。

**答弁**↓「親子で学ぶ論語教室」は、津山市家庭教育推進協議会に委託したつやまっ子家庭教育推進事業のひとつで、閉谷学校の國友道一所長を講師に迎えて開催している。平成23年度、24年度で計6回開催し、述べ362名の参加があった。この教室の特色は論語を子どもたちにもわかりやすく説明し、理解していただくことを目的に開催している。この講座を通して、保護者の皆さまにはより良い子育てのヒントとしていただくのはもちろんのこと、互いに学びあい互いに語りあうことによって、より親子の絆が深まるものと考えている。

### 交流の歴史を踏まえ物産展を開いては

新政クラブ 森西順次



**質問**↓宮古島市との交流の歴史を踏まえて物産展を開いては。友好交流都市などと相互発展のための施策を進められないか。

**答弁**↓1月に宮古島を訪問した際、宮古島市長から特産品であるマンゴーの販路拡大への協力要請があり、市内でのイベントなどの機会にPRしたい。津山の農産物を宮古島の物産展などでPRしてもらい一層両市の交流を図りたい。現在、国内外の9都市と縁組や提携をしており、今後のまちづくりに積極的に活かしたい。来年度は宮古島市と50周年、平成27年度は歴史友好都市の香川県土庄町と提携30周年、岐阜県可児市と20周年を迎え、その機会をとらえ物産展の開催をはじめ、人と物の交流を促し、相乗効果を生む事業を進めたい。

### 経済再生を！雇用の拡大を！

公明党津山市議団 原 行則



**質問**↓政権交代し、経済再生、東北復興の加速を最重要課題とし、デフレからの脱却のために金融緩和、財政出動し、円高の是正、株価上昇と景気の潮目が変わり、上昇期待の兆しが出始めている。津山の経済、雇用状況はどのようになっているか。

**答弁**↓日本経済は持ち直しの動きが続いているが、都市部と地方では温度差がある。津山地域ではステンレス加工関連が好調。雇用情勢は4月の有効求人倍率が0・93倍と前年比0・2ポイント、求人数も530人増加している。

**質問**↓企業誘致の現状と展望は。

**答弁**↓本年6月から市外からの企業誘致も目的に制度適用条件の緩和の引き下げ特例を創設した。22年度末から現在まで9社が決まり44社となった。

### 浜田市との歴史友好都市縁組・農業振興について

緑風会 西野修平



**質問**↓島根県浜田市の鶴田藩の飛び領地が久米の桑村地区にあった。幕末に鶴田藩が長州兵に攻め入れられ、この地に逃げて来られた。その顕彰と供養が明治より現在まで浜田会として行われている。浜田の市当局、議会の代表も毎年来られ出席している。美作国建国1300年を契機に歴史友好都市縁組しては。

**答弁**↓現在の交流がさらに深まり、より発展的な交流になることを期待する。

**質問**↓耕作放棄地を農地に戻し、農地の集積を図り、津山の農産物を外に売れる農業にすべきでは。

**答弁**↓耕作放棄地再生利用緊急対策交付金制度で、農地の復旧を行っている。外へ出荷するために、組織体制づくりを行っていききたい。